

# UNION NEWS

東海旅客鉄道労働組合

E-mail sodan@jrtu.or.jp  
東京本部 〒108-0075 東京都港区港町2-4-95  
JR東海品川ビルB館3F (03)6718-1251  
名古屋本部 〒453-0002 名古屋市中村区名駅1-1-13 (052)586-3127

JR東海ユニオン

https://www.jrtu.jp

(1割20円)組合員の購読料を含む  
発行人 尾内 裕昭 / 編集人 宮崎 勝典

## 第33回定期大会を開催!

満場一致で運動方針を決定!

「UNION FUTURE ↓2027」  
7年目の取り組みがスタート!

7月4日、ホテルアソシア静岡において、「第33回定期大会」を開催した。各議案の提起、質疑を経て、議案採決の議決数確認を行い、満場一致で全議案が承認されたことを確認した。

今回決定した運動方針に基づき、組合員全員参加で組織のさらなる発展を図るべく、中期目標「UNION FUTURE ↓2027」に基づき7年目の取り組みが新たにスタートとする。



尾内中執行委員長あいさつ要旨



めざしていく。私たちが本日、7年目を向かえる中期目標「UNION FUTURE ↓2027」に基づく運動をスタートさせる。本定期大会において、この1年間で取り組むべき課題と進むべき方向性について討議し、意思統一を図る。

「安全の確立」について、私たち鉄道・医療事業に携わる者にとって、「安全の確立」は、労使共通の不断に追求すべき最重要課題である。そして、安全確保の原点である職場、水際である分会からの主体的な取り組みを基本に、事故や労働災害の未然防止・再発防止に取り組んできた。この間の取り組みで、浸透が図られた「アサーション」キャンペーンと、同様に浸透を図ってきた「ジブングト」と運動させ、「あなたのアサーションで職場がプラスに!」を合言葉に、組合員の参画意識を醸成する段階まで高めていく。加えて、安全に関する取り組みは、グループ会社や関係会社との連携が極めて重要である。各社の課題をJR東海連合と連携し把握した上で、設備改善に留まらず、人手不足の深刻化を意識した契約単価や労務賃金の課題をより前進させられるよう取り組むとともに、「業務改革」、「グループビジョン2032」挑戦と実践」が与える影響なども考慮しつつJR東海労使で議論し、解決を図っていく。「組織の活性化」に向け

この一年、社会・経済活動の活性化と国内の移動需要の急速な回復に伴い、弾力的・機動的な輸送力の設定をおこなう中、JR東海ユニオン組合員は日々の安全安定輸送に努め、日本経済と国民生活の基盤である公共交通機関としての社会的使命を確りと担って頂いた。2024年3月期決算では、「増収・増益」となった。JR東海ユニオン組合員が鉄道・医療職場の最前線に立ち、エッセンシャルワーカーとして、強い使命感を持って業務に精励してきて頂いたこと、また、組合活動においても献身的な取り組みを推進してきて頂いたことに、心よりの敬意と感謝も申し上げる。さて、今まさに「変革」の時代であるが故に、大きな影響を受ける働く者の「想い、声、悩み、迷い、戸惑い、労苦」に、正面から向き合うことが出来る存在は、紛れもなく労働組合である。引き続きJR東海ユニオンは、「責任組合」として、組合員の利益を第一義とする労働組合主義に立脚し、互いに支え合い、励まし合い、困難に立ち向かって、一つひとつの課題に向き合い解決を

た取り組みは、安全の確立及びハートフルカンパニーの実現にあたって、基礎・基盤に位置付けられる。直接対話を通じて互いの想いを共有し、組合員一人ひとりの想いが詰まった民主的な組織を創り上げることが、労働運動の根幹であり、継承が重要である。加えて、相互扶助活動の最たる位置づけである交連共済生協の「総合共済」について、先のJR連合第34回定期大会において、2025年4月に制度改定がなされる方針が示された。皆さんのお手元にもチラシを配付しているが、引き続き、制度改定の実施に向け、組合員への丁寧な周知と改定手続きを行うべく、各級機関の役職員との連携を深め確実に共済事業活動を推進していく。「ハートフルカンパニーの実現」については、取り組むべき課題の方向性を提言した「ハートフルカンパニービジョン↓2027」を掲げ、組合員はもとより、世の中やお客様にとって一層親しみやすい会社づくりのため労使で議論を重ねてきた。引き続き「基本協約」改訂交渉や2025年春季生活闘争、36協定に係る交渉に、期末手当交渉と、組合員の働き方や生活に直結する労使交渉・協議についても、ワーク・ライブ・バランスの充実を念頭に置き、広範な内容について真摯な議論を展開していく。

**第33回 定期大会スローガン**  
安全の追求! 「みんなでアクション!」  
責任組合として  
「UNION FUTURE ⇒2027」に基づく運動を  
さらに飛躍させ  
将来にわたる組合員・家族の幸せを実現しよう!